

# スポーツをより楽しめる一年に

# 体協スポーツニュース

## スポーツ広報委員会

### 2024年 2月号 Vol. 69



### 街の賑わいづくりに力を注ぐ

二〇二四年の年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

まず、この度の令和六年能登半島地震により被災された皆様ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

私たちが十三年前、同じように経験しましたが、未だ完全な復興には至っており、今回被災された地域の方々を思うと心が痛む毎日です。被災地の一日も早い復旧と復興を心からお祈り申し上げます。



さて、昨年を振り返りますと、社会経済の不安定や自然災害の悲しいニュースに加え、温暖化による猛暑が続き、度々発表される熱中症警戒アラートに、運動やスポーツにおいても中止や延期などが多く感じられた一年でもありました。本会一丸となって難局を乗り越えたことに対し、心より感謝申し上げます。

本会は令和五年四月より、塩竈市スポーツ施設指定管理者として(株)フクシ・エンタープライズとの共同事業体を発足し、塩釜ガス体育館及び塩竈市温水プール両施設を安全で安心して利用いただける管理運営業務を行っております。また、市民の皆さまの健康と体力の維持増進を目的に、誰でもどこでもスポーツに親しむ環境の整備として「総合型地域スポーツクラブ・スポーツソシオしおがま」を開設しました。

会員数も徐々に増え、手ごたえを感じつつあります。令和五年で七年目を迎えた塩竈市アフタースクール事業「わくわく遊び隊」では、市内小学校低学年児童の基礎体力の向上とコミュニケーションづくりに努めております。「わくわく遊び隊」を単立していった子どもも多くなり、たまに声を掛けられると月日の流れを感じます。7年目とあって、軌道に乗ってまいりました。が慢心せずに進んでいきたいと思っております。

本会は今年も子どもから高齢者の皆さまの健康の維持と体力の向上のために、加盟単位協会の皆さまや関係団体の方々と努力してまいりますと共に、スポーツを通じた街の賑わいづくりにも力を入れていく所存です。

最後に平素より本会の活動にご理解、ご支援をいただいております皆様にご心より感謝申し上げます。今年も更なるご協力をお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

特定非営利活動法人

塩釜市体育協会

会長 佐々木信行

### 正月疲れを吹き飛ばせ!

家族みんなでスポーツDAY

令和六年一月六日、主催塩竈市教育委員会・主管塩釜市体育協会の「家族みんなでスポーツDAY」が開催されました。このイベントは、天候に左右されずに色んな種目で体を動かすことが出来るのが特徴です。おなじみのトランポリンやバドミントンに加え、お正月ならではの、けん玉や福笑いも登場。賑やかな雰囲気第一競技場内を包み込みました。

今回、話を聞かせていただいたのは、七名で来館された御家族の皆さん。初めて「家族みんなでスポーツDAY」



↑たくさんの方が来館

に来たとのこと。一番楽しかった遊びを聞くと、やはり「トランポリン」と回答。不動の一番人気はここでも健在でした。アジャタや高い所からのジャンプにも果敢に挑み、福笑いにもチャレンジ。目隠しをとった時のお福さんの出来具合にたいへん盛り上がりつつありました。お母さんをはじめ祖父母と孫の仲睦まじい姿に、ほっこりしたひとときでした。

今回、参加者は一七名。冬休み期間とあって家族連れが多く、大好評のうちに幕を閉じました。



→「福笑い」を楽しんでいる仲の良いご家族の「ニマ



# これまでの努力に敬意を表して

特定非営利活動法人  
塩釜市体育協会  
令和6年  
スポーツ表彰式



令和六年  
塩釜市・特定非営利活動法人塩釜市体育協会  
合同スポーツ表彰式

令和六年二月三日、特定非営利活動法人塩釜市体育協会の令和六年スポーツ表彰式が吉番館五階遊ホールで行われました。この表彰式では、塩釜市体育協会、各加盟単位協会において事業発展のために功績のあった個人や団体に「功労賞」「功績賞」を、また、武道競技において、優秀な成績を収められた方には「塩釜市武道大賞」を授与いたしました。ここに、受賞された皆様を紹介いたします。

## 《功労賞》

- 佐藤 亮輔 様  
塩釜市ソフトボール協会  
単協役員六年/会員二十二年
- 相馬 真法 様  
塩釜柔道協会  
単協役員十三年
- 渥美 享子 様  
塩釜市バレーボール協会  
単協役員十年/会員十五年

## 《功績賞・個人》

- 加藤 簾馬 様  
第三十一回宮城県小学生学年別個人選抜剣道大会  
五年男子の部 第一位
- 伊深 和歩 様  
第三十一回宮城県小学生学年別個人選抜剣道大会  
四年女子の部 第一位
- 佐々 実緒子 様  
第十七回東北地区選抜・内山杯争奪少年剣道錬成大会  
小学生五・六年生の部 第三位
- 相馬 優華菜 様  
第五十八回公益社団法人全国柔道整復学校協会柔道大会  
女子団体の部 中鋒 第二位
- 坂本 天音 様  
二〇二三第三回世界空道ジュニア選手権大会  
U十六男子四十八kg以下級 第二位
- 渡辺 鳳詩 様  
二〇二三宮城県空道選手権大会  
U七交流戦紫帯以下 第一位
- 安達 湊翔 様  
二〇二三北斗旗全日本空道ジュニア選手権大会  
東北予選  
U十三男子四十四kg以下級 第二位
- 安達 翔 様  
二〇二三北斗旗全日本空道ジュニア選手権大会  
東北予選  
U十六男子五〇kg以下級 第三位
- 高橋 結衣 様  
第二十三回全日本剛柔流空手道選手権大会  
形試合男女小学  
低学年有級の部 第三位



- 亀井 悠生 様  
第二十三回全日本剛柔流空手道選手権大会  
形試合男女小学  
高学年有級の部 第三位
- 田村 征也 様  
第二十三回全日本剛柔流空手道選手権大会  
形試合男女小学  
高学年有級の部 第二位
- 寺澤 望愛 様  
第二十三回全日本剛柔流空手道選手権大会  
形試合男女小学  
高学年有級の部 第一位
- 佐藤 颯莉 様  
第二十三回全日本剛柔流空手道選手権大会  
形試合男女小学  
高学年有級の部 第一位
- 寺澤 斗輝 様  
第二十三回全日本剛柔流空手道選手権大会  
形試合男子中学の部 第一位
- 汐折 秋希人 様  
第二十三回全日本剛柔流空手道選手権大会  
形試合男子中学の部 第三位
- 佐藤 空汰 様  
第二十三回全日本剛柔流空手道選手権大会  
形試合男子高校一般の部 第二位
- 屋代 心太郎 様  
第二十三回全日本剛柔流空手道選手権大会  
組手試合男子小学一年の部 第一位
- 矢吹 眞子 様  
第二十三回全日本剛柔流空手道選手権大会  
組手試合女子小学三・四年の部 第三位

## 受賞者~喜びの声~

中学からバレーボールをしています。ポジションはセッターです。縁があって今のところに所属しましたが、継続していくことが大事だと感じています。結果がついてきて、本当に嬉しく思っています。本日はありがとうございました。功労賞受賞者：渥美享子さまより

今回、初受賞です。びっくりしています。子どもは、もともと喘息持ちでしたが、空手を習う様になって、身体が強くなったと感じています。空手をさせて良かったと思います。功績賞受賞者：屋代心太郎さま・屋代隆太郎さまの保護者さまより

## 《功績賞・団体》

- 屋代 隆太郎 様  
第二十三回全日本剛柔流空手道選手権大会  
組手試合男子小学三年の部 第三位
- 只野 晃牙 様  
第二十三回全日本剛柔流空手道選手権大会  
組手試合男子小学六年の部 第三位
- 武山 康太郎 様  
第二十三回全日本剛柔流空手道選手権大会  
組手試合男子小学一年の部 第二位
- 増田 優菜 様  
第二十三回全日本剛柔流空手道選手権大会  
組手試合女子高校一般有級の部 第一位
- 堀田 杏奈 様  
令和五年度東北中学校体育大会  
第五十五回東北中学校水泳競技大会  
女子四×一〇〇mフリーリレー 第一位
- 女子四×一〇〇mドリリーリレー 第二位
- 女子一〇〇m背泳ぎ 第二位
- 女子二〇〇m背泳ぎ 第三位
- 塩釜市武道大賞  
第六十八回下川杯少年剣道大会  
小学校低学年団体戦の部 第二位
- 監督 岩本貴志様  
選手 及川瑛介様 佐々木凌士様 三嶋啓太様 伊深和歩様 小野寺権様
- 尚武殿一森山道場  
第六十八回下川杯少年剣道大会  
小学校高学年団体戦の部 優勝  
監督 遠藤昭様  
選手 小野寺権様 及川瑛介様 伊深時権様 佐々実緒子様 加藤簾馬様
- 塩釜市武道大賞  
第三十四回宮城県柔道少年団剣道錬成交流大会  
小学生団体の部 優勝  
監督 遠藤昭様  
選手 小野寺権様 及川瑛介様 伊深時権様 佐々実緒子様 加藤簾馬様
- 尚武殿一森山道場  
第十回東日本少年剣道錬成大会  
小学生の部 第三位



子どもからシニア世代までそれぞれの志向やレベルに合わせて参加でき、様々なスポーツを通してコミュニティーづくりもできる、地域と共に生きるスポーツクラブのことです。

本会では令和5年6月より「みんな！ずっと！元気！しおがま！」を合い言葉に、総合型地域スポーツクラブ「スポーツソシオしおがま」を本格始動。小学生・シニアプログラムをはじめ、多世代型スポーツイベント・健康講座など様々なメニューで元気をサポートしました。

## 総合型の地域スポーツクラブの特徴

### 継続・定期性

生活の中で定期的にスポーツを続けることによって、より多くの効果が得られます。

「いつでも」「どこでも」  
「いつまでも」

### 合理性

レベルや発達段階を踏まえた正しい指導と安全の確保によって、スポーツの様々な効果が生み出され、スポーツに対する意欲も高まります。

「正しく」「安全に」

### 組織性

スポーツを楽しむ仲間がお互いに協力し、支え合いながら活動することでスポーツの喜びはさらに大きくなり、人間関係も豊かになります。

「仲間と」「協力して」

### 自立性

自ら進んでスポーツを行うとともに、地域のスポーツ環境を整えることが、スポーツの楽しみをさらに深めます。

「自ら」「進んで」

## 豊かなスポーツライフと地域社会の実現を目指す

令和5年、スポーツソシオしおがまでは、地域住民同士がふれあえるイベント「地域スポーツ DAY」や体力維持・健康増進「ノルディックウォーキング」、身体のメンテナンスや栄養について学んだ「傷害予防講座」、他にも様々な教室を開催。また、他加盟市町村の職員との研修にも参加、意見交換もしました。

十一月四日に行われた傷害予防講座の様子。メンテナンス教室では二人一組になって講師の説明のもと実践。食育セミナーでは成長期の正しい栄養を学びました。



月見ヶ丘小と玉川小で開催された地域スポーツ DAY。スタンブラリー形式でたくさん遊びに挑戦しました。



↑  
ステイックの持ち方や基本の歩き方から練習したノルディックウォーキング教室

## 令和5年度 スポーツソシオしおがま プログラム

年会費(3,000円)をお支払いいただくと、会員価格で教室を受けることができます。会員でない方でも一般価格にて受講可能。たくさんの教室を用意し、皆さまの元気をサポートいたします。お気軽にご参加ください。

教室名	対象者	曜日	時間	参加費
エンジョイチャレンジ教室	小学4~6年生	金	17時~18時15分	年間 会員 12,000円 一般 17,000円
セラバンドで筋力アップ	成人(18歳以上)	金	10時~11時30分	1回 会員 650円/一般 850円
ボールで健康	成人(18歳以上)	水	10時~11時15分	1回 会員 650円/一般 850円
からだ改善エクササイズ	成人(18歳以上)	月	19時15分~20時30分	1回 会員 650円/一般 850円
ノルディックウォーキング	成人(18歳以上)	木	10時~11時30分	1回 会員 650円/一般 850円

※他にも教室や講座・イベントの開催をしています。

※お問合せ：塩釜ガス体育館内 スポーツソシオしおがま ☎ : 022(362)2101

# マラソンは人生の全て 生きる証



↑木村紀子さん(76歳)  
体脂肪率 15%の Superwoman

「今回のタイムは七時間四〇分二六秒でした」とおっとりした口調でインタビューに答えてくれたのは、塩竈市のスポーツ推進委員や塩釜市体育協会のスポーツシオシおがまの委員として活躍中の木村紀子さん。マラソンの他に卓球も楽しんでいて、小柄で品のある佇まいの木村さんですが、ホノルルマラソンは今回でなんと三回目、海外の大会にもエントリーするパワフルな女性なのです。

「ホノルルは制限時間がない大会です。完走すれば必ずメダルが頂けるのも魅力の一つですね。また、大体三キロごとにエイド(食べ物や飲み物を補給する場所)があってエネルギー切れの心配もありません。最後の五キロは塩竈の坂を彷彿とさせる高級住宅街を走りますが、塩竈で鍛えているので歩かずにクリアできます」と、マラソンに魅了されている木村さんですが、きっかけは三六歳の頃、ダイエット目的だったというから驚きです。知り合いに誘われた松島マラソン大会がその第一歩となりました。ダイエットに成功したかどうかは、木村さんご本人に会うことをお勧めします。

## ホノルルマラソンとは

アメリカ合衆国ハワイ州オアフ島ホノルル市で開催されるロードレースで、2019年までに47回開催されている。「世界一の市民マラソン大会」、「シヨガーの祭典」とまでいわれる。  
Wikipedia より



大会セッケン(メダル) 現地の方から頂いた 貝殻のレイ

さて、木村さんに一番心に残っているマラソン大会を聞いてみると、東京マラソン二〇〇八を挙げられました。「レース中に『鳴瀬一中、木村紀子頑張れ!』と声かけて振り向くと中学の同級生でした。その声援に後押しされ四時間三十分十一秒の好記録でゴールしました」とのこと。

今年もホノルルを走りたという木村さんの今の目標は、筋トレなのだそうです。今回のホノルルでは七六歳の「足」には見えない「足」は褒められたものの、自分では筋肉が落ちたと痛感。筋トレに力を入れたらと意気込みを語りました。

最後に木村さんにとってマラソンとは?

人生の全て  
生きる証です



## スポーツの伝道師 ~ 魅力を発信 ~



↑アトム体操教室での練習風景

塩釜市スポーツ少年団本部長、スポーツシオシおがま委員、わくわく遊び隊講師等、多岐にわたり塩竈のスポーツを支えている人物がいます。

青沼幸彦さんです。

スポーツシオシおがままでは塩竈市のスポーツ振興に努め、わくわく遊び隊では塩竈市立第二小学校を起点として、子ども達に体を動かすことの楽しさやコミュニケーションの大切さを教えられています。

子どもと接するのに気を付けていることは褒めること。「とにかく褒めます。運動だけじゃなくて、片付けでも、少し大げさに、良い意味でふざけたりして褒めます。体操で言うなら、一〇点の技だけ七点でも四点でも同じように褒めて、やる気を引き出す指導を心がけています」とのこと。また、わくわく遊び隊に参加することで、運動に対して自信をつけさせたいとも語りました。

青沼さんは自身で「アトム体操教室」を開いており、塩竈の他に、多賀城や利府等、多



↑青沼幸彦さん(56歳)  
仙台出身。中学で体操を始め、高校総体で優勝しIHに出場、仙台大でも4年間続け引退。選手時代の得意種目はあん馬

い時で六ヶ所に教室を持ち、約二〇〇名を超える生徒が在籍していたこともあるそうです。四半世紀の間、休みはほぼ無く、ただ突っ走ってきたということからも、体操への情熱は人一倍なのが伺えました。そんな青沼さん、実は高校時代に一度競技から離れたことがあるそう。「やんちゃもしましたが、やはり体操だと気づいて復帰しました」その後は大学へ進学し、卒業後に勤めた先で幼児体育に目覚められたそうです。

さて、最近一番嬉しかったことを尋ねると、昨年、アトム体操教室の卒業生から日本代表が二人出たことを挙げられました。その一人は昨年六月のアジア大会で団体二位に貢献し、パリ五輪選考対象選手にも選ばれている塩竈出身の佐々木郁哉選手。「自分の身長よりも遥かに高いとび箱を難なく跳んでしまう、野性的な動きをする子でした」と当時を懐かしみました。

今後はプライベートも充実させながら、塩竈市のスポーツを活性化していきたいと熱意を伝えられました。

## やる気を出させる指導を心がける

春の足音が少しずつ聞こえてくる季節になりました。毎年二月に行われる、体育協会のスポーツ表彰式。今年も功労賞三名・功績賞(個人)二十三名・功績賞(団体)四団体・武道大賞一名が受賞されました。

受賞者の皆さん、おめでとございます。

これからもご活躍を期待しております。

P E N Y

編集・発行  
特定非営利活動法人 塩釜市体育協会  
塩竈市温水プール(ユープル)内  
住所 〒985 - 0006  
宮城県塩竈市字杉の入裏 39-173  
電話 022-363-4501 FAX 022-366-0281  
E-MAIL pool@npo-shiogama-taikyo.or.jp

塩釜市体育協会

検索

X(旧 Twitter)はこちら↓

塩釜ガス体育館



塩竈市温水プール



塩釜市体育協会  
ホームページは  
こちら→

